

Artwork : Katsuhiko Hibino

熊本市第8次総合計画
やさしい日本語版

熊本市は 2024年4月から 2032年3月までの
8年間の まちづくりの 計画である
「熊本市 第8次総合計画」を つくりました。
熊本市は この計画に 書いているような
まちを めざします。

感じる計画! PLAN TO FEEL!

熊本市　政策局　総合政策部　政策企画課
TEL：096-328-2035
Mail : seisakukikaku@city.kumamoto.lg.jp

めざすまちの姿　―上質な 生活都市―

わたしたちは、住み続けたい、だれもが 住んでみたくなる、訪れたくなる まち、「上質な生活都市」を 目指します。

「上質な生活都市」とは・・・

- 豊かな自然と 歴史・文化に 恵まれている まち。
- あたたかいふれあいに 満ちた 地域の 中で、支え合いながら、幸せに 暮らせる まち。
- 災害に 強く、だれもが 安心して 暮らせる まち。
- 市民 一人ひとりが、誇りを 持てる まち。
- 夢や 希望を 抱いて、いきいきと 生活を 楽しんでいる まち。

まちづくりの 基本的な 考え方

まちづくりで 大事なのは、「地域」、そして、そこに暮らす「市民」です。

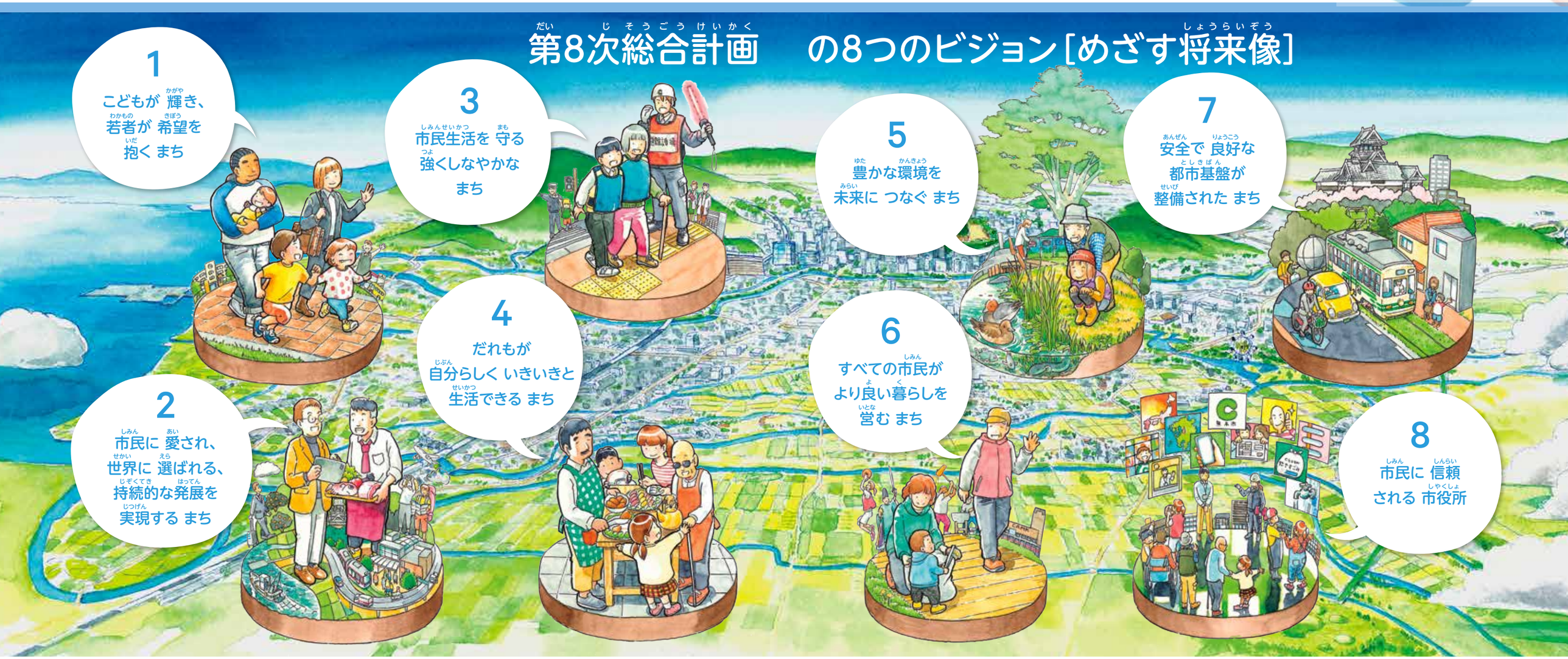
熊本市では、大きな被害が あった 2016年の 熊本地震の 時にも、

市民が 自分から 活動し、地域や コミュニティの 中で 助け合い、困難を 乗り越えてきました。

「市民」と「地域」、そして「行政」が、それぞれが 責任や 役割を 持ちながら、

お互いに 支え合うことのできる 地域を つくり、まちづくりに 取り組んでいきます。

第8次総合計画　の8つのビジョン［めざす将来像］



8つの ビジョン実現に 向けて、
次の 3つの 視点から 取り組みます。

1 SDGsの 推進

2 デジタル化、DXの 推進

3 他の 自治体などとの 繋がりの 強化

ビジョン 1　こどもが 輝き、若者が 希望を 抱く まち

こどもたちが 笑顔になり、どのような人でも 希望を もって 暮らすことが できる まちを 目指します。



めざす将来像に 向けた 取組

1-1	すべてのこどもが 笑顔に なり、子育てに 夢や 希望を 持てる まちを つくります。
1-2	困っている こどもや 子育てをしている人を 手助けし、すべてのこどもが 幸せに 生活できる まちを つくります。
1-3	こども一人ひとりを 大切にする 教育を 通して、これからの 時代を 作っていける こどもを 育てます。
1-4	性別、年齢、生まれた国などに 関係なく、それぞれの 能力を いかすことができる まちを つくります。

ビジョン 2　市民に 愛され、世界に 選ばれる、持続的な発展を 実現する まち

市民が 誇りに思い、世界中の人が 集まる、魅力的で、将来も ずっと発展していける まちを 目指します。



めざす将来像に 向けた 取組

2-1	半導体工場が 近くの 町に 建設されたことを きっかけに、熊本市にも いろいろな会社を 呼び込みます。また、新しい会社を 起こそうとする人や、中小企業の手助けを 行います。
2-2	豊かな水と緑、歴史と文化、まちなかのにぎわいなど、熊本市の魅力を 引き出し、世界中の人が あこがれ、市民が 誇りに 思うようなまちを つくります。
2-3	まちの いろいろな魅力を いかして、たくさんの人が 熊本市を 訪れてくれるように、豊かで 元気な まちにします。
2-4	広い範囲の 移動が しやすいように、鉄道や 道路などを 整備します。そして 人と 物の 流れを よくすることで 経済を 元気にします。
2-5	日本や世界の人に 安全・安心で おいしい 熊本の食べ物を 知ってもらい、農業・漁業をしている人たちが ずっと 続けていけるように 手助けを行います。

ビジョン 3　市民生活を 守る 強く しなやかなまち

災害などに 強く、安全で、安心して 暮らせる まちを 目指します。

めざす将来像に 向けた 取組

3-1	これまでの 災害から 経験して学んだことを いかして 災害などから 市民を 守る まちを つくります。
3-2	新型コロナウイルス感染症から 経験して学んだことを いかして、健康や 命を 守るしくみを 整え、より良くします。
3-3	火事や 急なけが、病気などから 市民を 守るための よりよい しくみを つくります。
3-4	交通事故や 犯罪の ない まちづくり、犯罪にあった人にも 優しい まちを つくります。また、日ごろから 市民に、交通安全や 防犯の大事さを 伝えていきます。



ビジョン 4　だれもが 自分らしく いきいきと 生活できる まち

性別や 生まれた国、年齢や 障がいなどに関係なく、だれもが 自分らしく、しあわせに 生活できる まちを 目指します。

めざす将来像に 向けた 取組

4-1	みんなが 人権を 守ることの 大切さが わかり、だれもが 平等に 自分らしく 幸せに 生きることができる まちに していきます。
4-2	年齢や 障がいなどに 関係なく、だれもが 生きがいを持ち、自分も 相手も 大事にしながら、支え合う まちを つくります。
4-3	性別に 関係なく、みんなが 自分の 思いや やる気を 大切にしながら、社会で 活躍できるようにします。
4-4	熊本市に暮らす 外国人を 手助けします。また、お互いを 分かり合い、共に 暮らしていきやすい まちに していきます。



ビジョン 5　豊かな環境を 未来に つなぐ まち

豊かな自然を 守り、育て、未来へ つないでいくことが できる まちを 目指します。



めざす将来像に 向けた 取組

5-1	地球温暖化対策として、2050 年までに 温室効果ガスの排出を ゼロにすることを 目指す取組を 進めます。
5-2	「生物多様性［biodiversity］」の 大切さを 伝えることで、自然と共に暮らす まちを 目指します。
5-3	ごみを 減らしたり、もう一度 使えるようにすることで、地球に やさしいまちを 目指します。また、災害の 時の ごみを 正しく 処理できるしくみを つくります。
5-4	水や 空気が きれいに 保たれた、暮らしやすく、安全で 安心な 生活環境を 守ります。また、人と 動物が 共に 生きていくことが できる まちを 目指します。

ビジョン 6　すべての市民が より良い暮らしを 営む まち

地域コミュニティのための 取組や、人々が ずっと健康で やりたいことを しながら 暮らしていくための 取組を 手助けし、市民が より良い暮らしを 営める
まちを 目指します。



めざす将来像に 向けた 取組

6-1	人々が 協力しながら、支え合う 地域コミュニティを 守り、さらに元気にします。
6-2	何歳に なっても 健康で いられるための 取組を 進めます。 また、だれもが 元気で 長生きできるようにします。
6-3	何歳になっても 勉強や 運動が できるようにします。また、勉強したことを、地域で いかせるようにします。
6-4	熊本市にある 文化財などを 大切に 保存します。また、みんなが文化や 芸術に 触れる機会を つくります。
6-5	人々の 暮らしを 守る 社会保障制度［保険・介護・年金など］を 正しく 運営するとともに、生活が 苦しい人の 相談に乗り 手助けを します。

ビジョン 7　安全で 良好な 都市基盤が 整備された まち

災害に 強く、本市の すばらしい 自然や 文化などの 景色を 守りながら、だれもが 移動しやすい
安全な まちを 目指します。

めざす将来像に 向けた 取組

7-1	災害に 強く、本市の すばらしい 自然や 歴史・文化などの 景色が守られ、どこにでも 移動しやすく、将来も 暮らしやすい 魅力的な 都市を 目指します。
7-2	人々の 暮らし方の 違いや 変化に 合わせ、安心して 豊かな 暮らしが できるような 住宅［住まい］の環境を 整えます。
7-3	安全で、将来も ずっと 使い続けていくことができる 上下水道のサービスを 実現します。



ビジョン 8　市民に 信頼される 市役所

質の 高い 行政サービスを 提供し、市民に信頼される 市役所を 目指します。

めざす将来像に 向けた 取組

8-1	職員の 能力を 高めたり 仕事の デジタル化や DX を 進めたりしながら、効果的・効率的な 運営を します。
8-2	人々が 市の取組を 知る機会や、参加する機会を 増やします。そして、その意見を 市の取組に 取り入れます。
8-3	熊本県内で 一番大きな 都市としての 役割を果たすため、熊本県や 近くの市町村など 他の自治体などと 協力しながら 広い地域に共通する 問題を 解決します。

